

◎礼拝説教：2020年1月5日

◎説教者：中村準一 牧師

◎タイトル：神の選び

◎今日の聖書：創世記25章19－26節

19アブラハムの子イサクの系図は次のとおりである。アブラハムの子はイサクであって、20イサクは四十歳の時、パダンアラムのアラムびとベトエルの娘で、アラムびとラバンの妹リベカを妻にめとった。21イサクは妻が子を産まなかったので、妻のために主に祈り願った。主はその願いを聞かれ、妻リベカはみごもった。22ところがその子らが胎内で押し合ったので、リベカは言った、「こんなことでは、わたしはどうなるでしょう」。彼女は行って主に尋ねた。23主は彼女に言われた、「二つの国民があなたの胎内にあり、二つの民があなたの腹から別れて出る。一つの民は他の民よりも強く、兄は弟に仕えるであろう」。24彼女の出産の日がきたとき、胎内にはふたごがあった。25さきに出たのは赤くて全身毛ごるものようであった。それで名をエサウと名づけた。26その後、弟が出た。その手はエサウのかかとをつかんでいた。それで名をヤコブと名づけた。リベカが彼らを産んだ時、イサクは六十歳であった。

◎宣教

イサクの妻リベカは、長い間、子供ができなかったので、夫のイサクは神に祈りました。神は彼の祈りに応えて、彼女の胎内に双子を授けたのでした。ところが、その双子は胎内にいたときから、互いに激しく争うようになったのでした。両親は神様に尋ねました。「一体、これは、どういうことですか。神はリベカに答えました。「あなたの胎内には、ふたつの国がある。一つの国は、他の国よりも強く、兄が弟に仕える。」神は全人類の未来を預言したのでした。最初の人間アダムは、神によって、神の形に創造されたので、人類の中には、神の性質が宿っているのです。しかし、最初の人間アダムは神に背いて、サタンの誘惑にまけてしまったので、人類の中には、サタンの罪も入っているのです。そして、人類の中で、神とサタンの争いが始まったのでした。しかし、イエス・キリストは十字架につけられて、ご自身の血を流し、人間の罪を贖ってくださいました。そして、イエス・キリストを信じる者は、御子の血によって、すべての罪を贖われて、完全に救われ、神とともに、永遠に生きる者となったのです。私たちの救いは、私たちが、御子イエスの十字架の贖いを受け入れかどうかに、かかっているのです。私たちは、御子の十字架の贖いを信じて、決して諦めることなく、最後まで信仰を貫きましょう。そ

うする者が選ばれた者・勝利者となるのです。私たちの救いの確かさを、自分の能力や、努力に置くのではなく。神様の限りない愛に置きましょう。神の選びは、最後まで諦めない者に及ぶのです。私たちは神と共に勝利しましょう。限りない御恵みを感謝します。